

平成25年度

釣島灯台吏員退息所及び倉庫火災防ぎょ訓練

(松山市有形文化財)



実施日時 平成26年3月8日(土)

10:00~11:30

場所 松山市泊町 釣島

平成25年度

釣島灯台吏員退息所及び倉庫火災防ぎょ訓練実施計画

(松山市有形文化財)

1 はじめに

平成25年8月10日に発生した宝巖寺本堂の全焼火災で、国重要文化財の「木造一遍上人立像」が焼損し、松山を象徴する文化の一つが失われたことは、作品的・歴史的そして市の観光にとっても影響が大きい。

釣島灯台吏員退息所及び倉庫は、「日本の灯台の父」と称されるR.H.ブラントンの作品であり、明治時代に設置された灯台や官舎で、移転して重要文化財建造物として指定されている例はありますが、現役灯台と旧官舎が揃って現地で保存されているものは数少なく、「釣島灯台及び旧官舎」は非常に価値の高い近代遺産であると各方面から評価されています。平成7年に市の有形文化財に指定されてからは観光にも大きく貢献している。

2 訓練目的

平成25年8月10日に発生した宝巖寺本堂の全焼火災を教訓として、「市有形文化財釣島灯台退息所及び倉庫」を対象に火災防ぎょ訓練を実施し、施設管理者の防火意識の高揚、文化財の周知、西消防署で作成している消防活動計画の検証及び消防団をはじめとする関係機関との連携を図り、「市の宝」を有事の際、被害を最小限に抑えることを目的とする。

3 訓練日時

平成26年3月8日(土曜日) 午前10時00分～午前11時30分

4 訓練場所

松山市泊町 釣島灯台吏員退息所及び倉庫付近

5 訓練参加機関及び人数

松山市消防団	1名
松山市消防団興居島分団	27名
興居島地区自主防災連合会	10名
松山西警察署(興居島駐在所)	1名
松山市興居島支所	1名
松山市文化財課	2名
松山市西消防署	19名

6 参加車両

消防救急艇	一隻
興居島分団員所有の船舶	三隻
興居島分団積載車	一台

7 訓練想定・内容

(1) 想定

市内に乾燥注意報が発令中、たき火が拡大し、林野火災が発生。海からの強風にあおられ、釣島灯台吏員退息所及び倉庫に火の手が迫っている。火事を発見した島民が119番通報する。

119番通報を受け、出動指令を受けた興居島分団及び釣島自主防災会が協力して消火活動を実施するも火災は延焼拡大している状況である。

(2) 内容

- ・消防救急艇による、人員、資機材の搬送訓練
- ・興居島からの人員、資機材の搬送訓練
- ・各機関による情報収集及び伝達訓練
- ・山林火災対応訓練（可搬ポンプを中継しての高所への送水、積載車及び人力による資機材の搬送）
- ・負傷者対応訓練（応急処置、搬送）

(3) 訓練図面 別紙参照

8 訓練講評及び謝辞

講評：松山市西消防署長 井手 清史

謝辞：釣島防災会長 小池 保

9 訓練の中止について

荒天の場合、当日午前8時に中止を決定する。訓練の延期なし。

各機関へは電話連絡する。

※中止基準

松山市消防救急艇運行管理規定第10条の規定により、署長、5小隊長の判断とする。

10 釣島までの関係機関の送迎について

西署幹部、報道関係者、松山市文化財課、興居島支所長、興居島駐在所は消防救急艇「はやぶさ」及び行政連絡船「かもめ」で送迎する。9時00分三津浜栈橋出向。

11 関係機関車両の駐車について

関係機関の車両の駐車場については、松山港務所東の荷揚げ場及び西署南側を開放する。

訓練スケジュール

時間	活動
9 : 3 0	事前広報
1 0 : 0 0	訓練開始 釣島灯台吏員退息所東側付近で住民が焚き火をしていて拡大、消火困難となり119番通報する。
1 0 : 0 1	通信指令課より公設消防隊、興居島分団に出動指令をかける（携帯無線3ch使用）
1 0 : 0 5	西消防署 消防救急艇（はやぶさ）に資機材及び人員を乗せ三津棧橋から出動する。
1 0 : 0 6	釣島ポンプ蔵置所に集結し、可搬ポンプを20t防火水槽に水利部署し、積載車でホース等を搬送し、ホースを延長する。
1 0 : 1 0	火災を知った釣島防災会も釣島に在住する団員と共働してホース延長を実施する。
1 0 : 1 5	興居島から分団・自主防災連合会到着 高低差があるため、搬送してきた可搬ポンプ2台を中継用ポンプとして設置する。
1 0 : 2 5	はやぶさ 釣島漁港到着 最先端の中継ポンプを設置する。
1 0 : 5 0	実放水体制が整い、指揮隊の命により、一斉放水する。 （筒先2口） ジェットシューターも活用し消火活動を実施する。
1 0 : 5 2	放水時、負傷者発生。 無線で、女性消防団に応急処置と救急西3小隊を要請する。 本部席西側の救護所まで搬送し、女性消防団による応急処置が実施される。
1 0 : 5 5	救急西3到着。女性消防団より負傷者を引継ぎ、電動アシスト付ストレッチャーにて消防救急艇まで搬送する。
1 1 : 0 0	火災鎮火
1 1 : 0 5	講評体制に集結する。
1 1 : 1 5	講評
1 1 : 3 0	撤収